

第4次  
富士宮市地球温暖化対策実行計画  
(事務事業編)

令和元年度結果報告書

令和3年3月

富士宮市 環境企画課 環境エネルギー室

## 1. 計画の概要

### (1) 計画期間

実行計画の期間：平成28年度～令和2年度※

本計画の期間は、平成28年度から令和2年度※までの5年間としています。

※第5次計画実行計画（計画期間：令和2年～12年）の策定により、本計画の計画期間を1年短縮し、令和元年度までとします。

本計画の策定に当たっては、基準年度を平成26年度として削減目標等を定めます。

なお、社会情勢の変化、法改正等により、必要に応じ見直しを行います。

### (2) 温室効果ガス排出削減目標

削減目標：令和2年度までに平成26年度比で9%削減する

分野別排出量の削減目標を、次のとおり設定します。

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

排出起源		基準年度実績 (平成26年度)	令和2年度目標	
電気の使用		16,218	電力使用量の削減及び新エネルギー等の導入により、温室効果ガス排出量を基準年度比で約6%削減します。	15,244
燃料の使用	都市ガス	2,941	燃料使用量の削減及び新エネルギー等の導入により、温室効果ガス排出量を基準年度比で約3%削減します。	2,842
	LPガス			
	A重油			
	灯油			
	ガソリン・軽油 (公用車燃料除く)			
公用車燃料		422	公用車使用による燃料(ガソリン及び軽油)使用量の削減により、二酸化炭素排出量を基準年度比で約6%削減します。	397
プラスチックごみの燃焼		9,357	プラスチックごみの焼却量の削減により、二酸化炭素排出量を基準年度比で約18%削減します。	7,672
その他 ・自動車(エアコン、走行) ・下水、し尿の処理		1,973	可能な限り削減に努めますが、数値目標は定めません。	1,973

### (3) 計画の対象物質

本計画では、温対法第2条第3項が対象としている下記の7種類の温室効果ガスを対象とします。

名称	概要	地球温暖化係数 (温室効果)
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	主に石油や石炭などの化石燃料の燃焼により排出されます。 エネルギー消費を伴う日々の生活と密接に関係しています。	二酸化炭素の係数 (温室効果)を1とする。
メタン(CH <sub>4</sub> )	水田や家畜の腸内、廃棄物最終処分場における有機物の 嫌気性発酵等において発生します。	25
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	化石燃料や一般廃棄物の燃焼、農用地の土壌や家畜排 泄物等から発生します。	298
ハイドロフルオロカ ーボン類(HFCs)	冷凍機器、空調機器の冷媒や断熱材等の発泡剤等に使用 します。オゾン層を破壊しませんが、強い温室効果があります。	12～14,800 【1,430(HFC-134a)】
パーフルオロカーボ ン(PFCs)	主に半導体の製造工程等において使用されます。強い温室 効果があります。	—
六ふつ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	主に電気絶縁ガスや半導体製造工程等において使用されま す。強い温室効果があります。	—
三ふつ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	半導体製造でのドライエッチングやこれらの製造装置のクリー ニングに使用。	—

## 2. 温室効果ガス排出状況

### (1) 種類別の温室効果ガス排出量

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

年度 温室効果ガス の種類	平成26年度 (基準年度)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度削減率	
					基準年度比	前年度比
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	28,881	25,170	26,437	28,546	1.2%削減	8.0%増加
メタン(CH <sub>4</sub> )	1,465	1,466	1,476	1,477	0.8%増加	0.6%増加
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	561	546	574	592	5.5%増加	3.1%増加
ハイドロフルオロカ ーボン類(HFCs)	4	3	3	4	変化なし	33.3%増加
パーフルオロカーボ ン(PFCs)	—	—	—	—	—	—
六ふつ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	—	—	—	—	—	—
三ふつ化窒素(NF <sub>3</sub> )	—	—	—	—	—	—
合計	30,910	27,185	28,490	30,619	0.9%削減	7.5%増加

※小数点以下を端数処理(四捨五入)しているため、合計と一致しない場合があります。

## (2) 温室効果ガス排出量とその推移

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

排出起源	年度	平成 26 年度 (基準年度)	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和元年度削減率		削減目標 達成状況
						基準年度比	前年度比	
電気の使用		16,218	14,685	14,107	14,035	13.5%削減	0.51%削減	224.12% <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span>
燃料の使用	都市ガス							
	LPガス							
	A重油	2,941	2,568	2,563	2,430	17.4%削減	5.2%削減	516.16% <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span>
	灯油							
	ガソリン・軽油 (公用車燃料除く)							
公用車燃料	422	407	403	363	14.0%削減	9.9%削減		
合計	30,910	27,185	28,490	30,619	0.9%削減	7.5%増加	10.49% <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要改善</span>	
プラスチックごみの燃焼		9,357	7,556	9,421	11,788	26.0%増加	25.1%増加	-144.27% <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要改善</span>
その他 ・自動車(エアコン) ・下水、し尿の処理		1,973	1,969	1,996	2,001	1.4%増加	0.3%増加	-1.40% <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要改善</span>

※小数点以下を端数処理(四捨五入)しているため、合計と一致しない場合があります。

電気の使用については、使用量が減少したこと及び排出係数が下がった影響で、温室効果ガス排出量が減少しています。

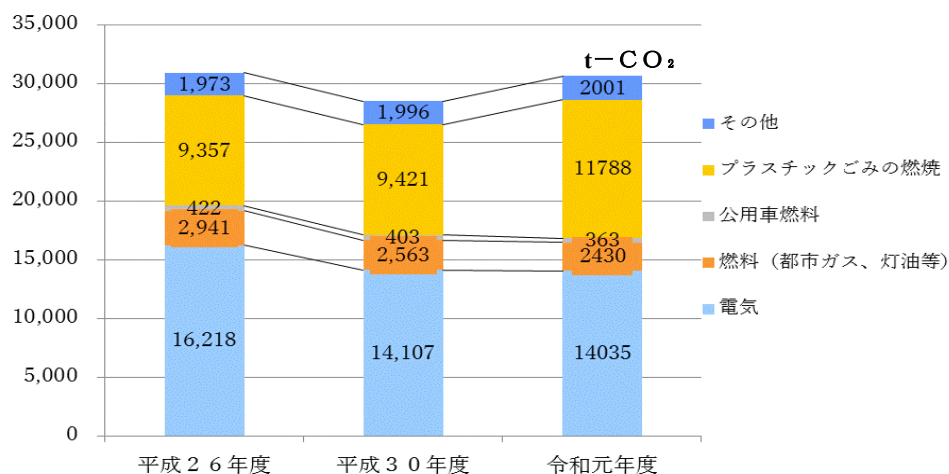
燃料の使用については、庁舎7階の食堂休止による都市ガスの使用量及び清掃センターによる灯油の使用量が減少したことが主な要因です。

また、上記に加え、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、休校や施設の休館があったことが、電気及び燃料の使用が減少した要因の一つに挙げられます。

公用車燃料については、ガソリンの使用量が減少したことが要因です。

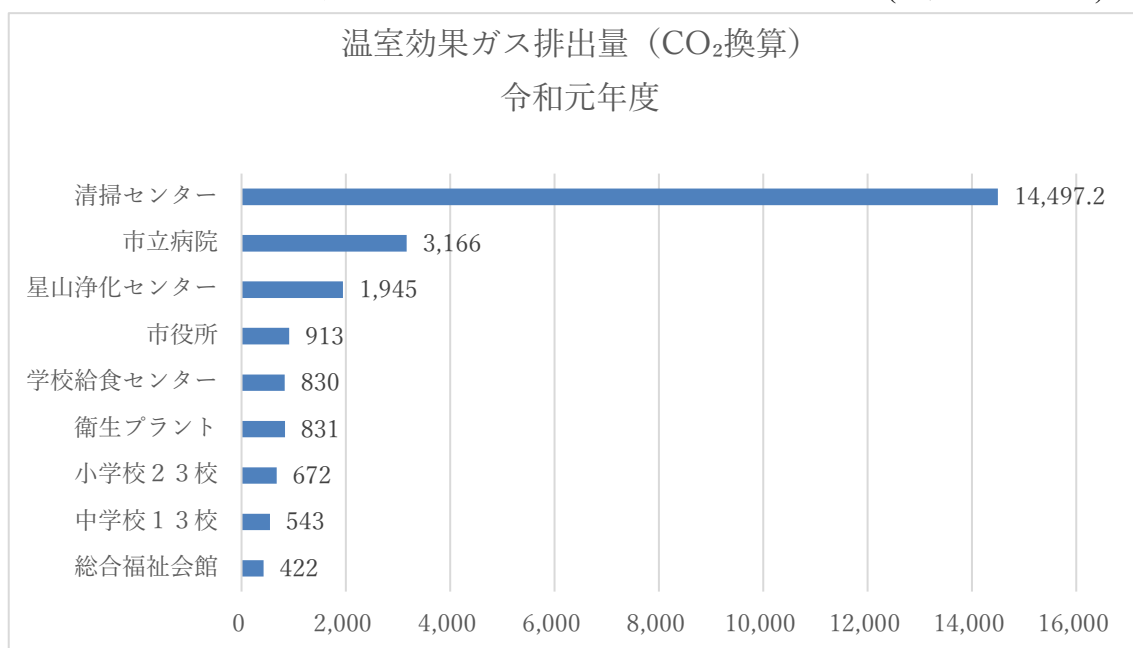
プラスチックごみの燃焼については、プラスチックごみの焼却量が増加した影響で温室効果ガス排出量が増加しています。

その他については、下水処理量が増加したことが要因の一つと考えられます。



(3) 主要施設別の温室効果ガス排出量

(単位：t-CO<sub>2</sub>)



(単位：t-CO<sub>2</sub>)

施設名	二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	メタン (CH <sub>4</sub> )	一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	合計
清掃センター	14,426	0.1	71	14,497.1
市立病院	3,166	-	-	3,166
星山浄化センター	1,301	204	441	1,946
市役所	913	-	-	913
学校給食センター	830	-	-	830
衛生プラント	773	44	13	830
小学校23校	672	-	-	672
中学校13校	543	-	-	543
総合福祉会館	422	-	-	422
合計	23,046	248	525	23,819.1

※市の事務事業全体で排出された温室効果ガスは、国の法律に従い、CO<sub>2</sub>の排出量に換算し、表記しています。

上図は施設別の温室効果ガスの排出量について、温室効果ガス別に示した図と表になります。

二酸化炭素については、プラスチックごみの燃焼からの排出量が多いことから、清掃センターが最も多く、次いで市立病院、星山浄化センターからの排出の順となっております。

メタンについては、星山浄化センターの下水処理からの排出が最も多く、次いで衛生プラントからの排出となっています。

一酸化二窒素については、星山浄化センターの下水処理からの排出が最も多く、次いで、清掃センターのプラスチックごみの燃焼からの排出の順となっています。

3. 令和元年度取組結果

(1) 省エネ設備の導入

施設名称	導入設備
富士宮市役所	LED 照明(6階、1階市民ホールのショーケース)
星山浄化センター	LED 照明(場内蛍光灯)
中央消防署東分署	LED 照明(事務室、食堂、廊下、トイレ)
あすなろ園	LED 照明(保育室、廊下)
袖野公民館	LED 照明(事務室、1階図書コーナー、2階集会室)
市民文化会館	LED 照明(敷地内外灯の一部)
北山会館	空調設備の更新(2階会議室)
白糸地域学習センター (白糸出張所内)	空調設備の更新
保健センター	LED 照明(エントランス)、全館空調設備の更新
救急医療センター	2階空調設備の更新
市民文化会館	空調設備の更新(和室)

(2) 太陽光発電システムの導入

施設名称	設置容量	売電状況
富士根南公民館 駐車場 ※カーポート型太陽光発電システム	8.8kW	余剰売電(屋根貸し事業) ※発電した電気は施設で自家消費
中央消防署東分署 駐車場 ※カーポート型太陽光発電システム	8.8kW	余剰売電(屋根貸し事業) ※発電した電気は施設で自家消費
西消防署北分署 駐車場 ※カーポート型太陽光発電システム	8.8kW	余剰売電(屋根貸し事業) ※発電した電気は施設で自家消費



富士根南公民館 駐車場



中央消防署東分署 駐車場



西消防署北分署 駐車場

(3) 公用車の利用状況

車	台数
プラグインハイブリッド車(PHV)	2台
電気自動車(EV)	2台